



## 2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月11日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所  
 コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長 (氏名) 瀧川 順

TEL 03-3456-0561

四半期報告書提出予定日 2019年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	6,101	10.5	324	16.0	284	22.7	206	18.4
2019年2月期第2四半期	5,521	3.3	386	6.3	368	11.8	252	24.8

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 191百万円 ( 12.6%) 2019年2月期第2四半期 219百万円 ( 50.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	98.31	
2019年2月期第2四半期	120.42	

当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	13,226	3,900	29.5	1,861.04
2019年2月期	11,995	3,761	31.4	1,794.67

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 3,900百万円 2019年2月期 3,761百万円

1. 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2019年2月期の連結財政状態については遡及処理後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		50.00	50.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年2月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,173	5.9	600	35.6	544	38.6	390	36.4	186.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	2,099,376 株	2019年2月期	2,099,376 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	3,520 株	2019年2月期	3,520 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	2,095,856 株	2019年2月期2Q	2,095,856 株

当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年3月1日～2019年8月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、引き続き個人消費に持ち直しの動きも見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。

国内化粧品市場においては、中国における電子商取引法の施行、米中貿易摩擦、中国人民元安による影響等、今後の市場環境に流動的な側面も見られますが、訪日観光客によるインバウンド消費は依然堅調に推移している模様です。海外化粧品市場においては、中国をはじめとするアジア地域では堅調な成長が続いております。堅調な国内外の化粧品市場を背景に、当社グループが属する化粧品受託製造市場においても堅調な成長が続いております。一方で、原料や資材・容器等の調達市場や、人材市場では需給逼迫が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループでは、2017年度からスタートした「中期事業戦略ビジョン(2017-2021)」のもとで、現在取組み中の「つくば工場の第3期拡張工事」等を通じた「生産能力の増強」、ならびにグループシナジーの創出を通じた「グローバル化の加速化」の実現に取り組んで参りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は、①日本国内におけるインバウンド・アウトバウンド需要を背景とした国内化粧品メーカーによるアウトソーシングの拡大に伴う受注増、②海外大手化粧品メーカーからの“メイド・イン・ジャパン”製品の受注増、ならびに③フランスの連結子会社の順調な売上等を主要因に、前年同期比10.5%増の6,101百万円となりました。

利益面では、「つくば工場の第3期拡張工事」完成後の生産拡大に向けた先行的な諸費用の増加もあって、営業利益は前年同期比16.0%減の324百万円、経常利益は前年同期比22.7%減の284百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比18.4%減の206百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

中国をはじめとするアジア地域で“メイド・イン・ジャパン”製品の人気が高いことを背景に、国内化粧品メーカー各社がインバウンド・アウトバウンド需要を取り込んで製品の安定供給体制の確保を図り、また海外化粧品メーカーも“メイド・イン・ジャパン”製品の確保に動いている中、当社へのアウトソーシングも引き続き好調に推移したことから、売上高は前年同期比7.4%増の4,970百万円となりました。営業利益は「つくば工場の第3期拡張工事」完成後の生産拡大に向けた先行的な諸費用の増加もあって、前年同期比26.8%減の250百万円となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S.（以下「テプニエ社」という）の所在する欧州経済は、先行き不透明感はあるものの、景気の緩やかな回復基調は持続しております。このような事業環境のもとテプニエ社では医薬品・化粧品ともに順調に売上が伸張し、現地通貨ベース・邦貨換算後共に前年同期比増収増益となり、売上高は前年同期比28.9%増の1,184百万円、営業利益は前年同期比53.9%増の67百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、1,231百万円増加し、13,226百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が22百万円減少し、固定資産が1,253百万円増加したことによるものであります。流動資産の主な減少要因は、現金及び預金が44百万円、その他が118百万円減少し、たな卸資産が152百万円増加したことによるものであります。固定資産の主な増加要因は、建設仮勘定が1,288百万円増加したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、1,092百万円増加し、9,326百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が130百万円減少し、固定負債が1,222百万円増加したことによるものであります。流動負債の主な減少要因は、短期借入金が141百万円、賞与引当金が142百万円増加し、その他が450百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金が1,248百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、139百万円増加し、3,900百万円となりました。主な増加要因は、株主資本が親会社株主に帰属する四半期純利益206百万円等により153百万円増加し、その他の包括利益累計額合計が14百万円減少したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、43百万円減少し、624百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、259百万円(前年同期は522百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益283百万円、減価償却費260百万円、賞与引当金の増加額142百万円、仕入債務の増加額162百万円等による増加と、たな卸資産の増加額168百万円、未払金の減少額300百万円、法人税等の支払額112百万円等による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、1,478百万円(前年同期は371百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,371百万円、無形固定資産の取得による支出71百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、1,179百万円(前年同期は17百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額174百万円、長期借入れによる収入1,745百万円と長期借入金の返済による支出508百万円、リース債務の返済による支出49百万円、配当金の支払額52百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年4月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	769,641	725,263
受取手形及び売掛金	2,107,933	2,120,042
電子記録債権	216,366	191,973
たな卸資産	1,951,705	2,104,627
その他	269,450	150,985
流動資産合計	5,315,097	5,292,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,745,323	2,662,503
機械装置及び運搬具(純額)	808,782	757,414
土地	1,301,441	1,301,014
建設仮勘定	536,756	1,824,964
その他(純額)	146,588	148,556
有形固定資産合計	5,538,891	6,694,452
無形固定資産	256,009	323,001
投資その他の資産		
投資有価証券	502,071	520,671
その他	454,376	459,682
貸倒引当金	△71,388	△63,993
投資その他の資産合計	885,059	916,360
固定資産合計	6,679,961	7,933,814
資産合計	11,995,058	13,226,706
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	776,810	842,467
電子記録債務	787,556	871,534
短期借入金	1,852,335	1,993,497
未払法人税等	131,946	68,957
賞与引当金	69,137	211,794
役員賞与引当金	50,000	—
その他	1,423,917	973,447
流動負債合計	5,091,704	4,961,698
固定負債		
長期借入金	2,790,427	4,038,780
役員退職慰労引当金	147,630	147,630
退職給付に係る負債	70,217	62,629
その他	133,699	115,489
固定負債合計	3,141,974	4,364,529
負債合計	8,233,679	9,326,227
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	714,104	714,104
資本剰余金	943,209	943,209
利益剰余金	1,890,529	2,044,170
自己株式	△3,857	△3,857
株主資本合計	3,543,986	3,697,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264,670	276,704
為替換算調整勘定	△47,277	△73,852
その他の包括利益累計額合計	217,392	202,852
純資産合計	3,761,379	3,900,478
負債純資産合計	11,995,058	13,226,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	5,521,908	6,101,756
売上原価	4,499,045	5,092,908
売上総利益	1,022,862	1,008,847
販売費及び一般管理費	636,688	684,274
営業利益	386,174	324,573
営業外収益		
受取利息	304	329
受取配当金	5,644	3,772
雑収入	13,902	6,773
営業外収益合計	19,851	10,875
営業外費用		
支払利息	29,160	31,151
為替差損	4,088	18,561
その他	4,082	741
営業外費用合計	37,331	50,454
経常利益	368,694	284,994
特別利益		
訴訟関連損失戻入額	9,191	—
特別利益合計	9,191	—
特別損失		
固定資産除却損	63,924	1,522
訴訟関連損失	7,659	—
特別損失合計	71,583	1,522
税金等調整前四半期純利益	306,302	283,472
法人税、住民税及び事業税	78,239	63,072
法人税等還付税額	△8,607	—
法人税等調整額	△15,721	14,362
法人税等合計	53,909	77,435
四半期純利益	252,392	206,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	252,392	206,036

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	252,392	206,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,144	12,034
為替換算調整勘定	△46,465	△26,574
その他の包括利益合計	△33,321	△14,540
四半期包括利益	219,070	191,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,070	191,496
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	306,302	283,472
減価償却費	258,841	260,505
賞与引当金の増減額(△は減少)	164,962	142,656
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,500	△50,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,471	△5,171
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,889	△4,948
受取利息及び受取配当金	△5,948	△4,102
支払利息	29,160	31,151
固定資産除却損	63,924	1,522
売上債権の増減額(△は増加)	△218,469	△7,681
たな卸資産の増減額(△は増加)	△263,544	△168,146
仕入債務の増減額(△は減少)	411,889	162,824
未払金の増減額(△は減少)	△164,292	△300,110
未払消費税等の増減額(△は減少)	65,301	15,539
その他	△10,092	42,438
小計	576,173	399,948
利息及び配当金の受取額	5,648	3,837
利息の支払額	△29,263	△32,017
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△30,114	△112,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	522,443	259,601
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,000	△40,000
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△365,959	△1,371,699
無形固定資産の取得による支出	△3,959	△71,650
投資有価証券の取得による支出	△1,235	△1,259
貸付けによる支出	—	△33,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	△371,154	△1,478,246
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	13,131	174,868
長期借入れによる収入	527,370	1,745,951
長期借入金の返済による支出	△461,836	△508,747
自己株式の取得による支出	△11	△2
リース債務の返済による支出	△56,792	△49,455
配当金の支払額	△52,101	△52,092
その他	12,649	△130,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,590	1,179,960
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,684	△4,702
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	128,012	△43,387
現金及び現金同等物の期首残高	634,020	667,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	762,033	624,109

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年3月1日 至 2018年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,604,208	917,699	5,521,908	—	5,521,908
セグメント間の内部売上高又は 振替高	23,486	1,452	24,938	△24,938	—
計	4,627,694	919,152	5,546,847	△24,938	5,521,908
セグメント利益	342,365	43,731	386,097	76	386,174

（注）1. セグメント利益の調整額76千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年3月1日 至 2019年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,937,557	1,164,199	6,101,756	—	6,101,756
セグメント間の内部売上高又は 振替高	33,259	20,282	53,541	△53,541	—
計	4,970,816	1,184,481	6,155,298	△53,541	6,101,756
セグメント利益	250,482	67,289	317,771	6,801	324,573

（注）1. セグメント利益の調整額6,801千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。